

経産省前テントひろばニュース

テント強制撤去から3480日原発再稼働糾弾！

第330号

編集・発行

テントひろば運営委員会

## 3・11 脱原発 経産省前大集会に集まろう！ ～あれから15年、忘れてなるかフクシマを！～

私たち「経産省前テントひろば」は、2011年3月のフクシマ事故から半年後の9月に経産省前に3つのテントを建て、5年近く抗議活動を続けてきました。

2016年夏にテントが裁判所により強制撤去された以降は、私たちは経産省本館前歩道に座り込んで抗議活動を続け、毎週金曜日には夕方5時から一時間、抗議集会を開催しています。さらに脱原発を訴える抗議・申入れ書を毎月経産省に提出し、あるいは経産省前で青空川柳句会、JKS47 土による月例祈禱会などを開催しています。

3.11の東電福島第一原発事故後15年が経過したいま、自民党政権では2024年の能登半島地震にも拘わらず災害復興事業を脇に置いて、「危機管理投資」と称してエネルギー・資源安全保障の名目で、東電によるトラブル続きの柏崎刈羽6号機の再稼働を押し進めています。また、経産省は原子力規制委員会により安全性が確認されたといって古い原子炉の再稼働を加速し始めており、高市内閣の下で原発の新増設や小型原発まで画策するなど、AIを口実にした原発推進を目論んでいます。

そこで、「経産省前テントひろば」は経産省に対する怒り、そして脱原発を訴える大集会を、下記の要領で開催いたします。

是非、皆様のご参集をお願いする次第です。

記

日時：2026年3月11日(水)14時～16時

場所：経産省本館前

発言・演奏予定(詳細未定)

◎朴保さん ロックボーカリスト

◎松久保肇さん 原子力資料情報室

◎落合恵子さん 作家

◎山崎久隆さん たんぽぽ舎・東電株主訴訟・TUP

他 以上

### 原発に頼らないエネルギー政策を

経済産業大臣 赤澤 亮正 様 経産省の皆様

資源エネルギー長官 村瀬 佳史 様 2026年2月21日  
経産省前テントひろば有志

原発に頼らないエネルギー政策を考えてください。

福島原発事故からもうすぐ15年になります。

事故のせいで家を失なった人々、避難を余儀なくされていまだに帰れない何万人もの人たち、政府や東電は認めていませんが放射能を浴びたことによって病気になった人達もいます。そして事故後の福島第一原発では、作業員が毎日放射能を浴びながら廃炉作業を行っています。

これらのことをどうお考えでしょうか？

私たちは3・11福島原発事故の後、原発の危険を知り、反原発を訴えて経産省前で座り込みを続けています。原発は安くも安全でもクリーンでもありません。政府はCO<sub>2</sub>削減のために原発推進と言っていますが、原発を動かすときにはCO<sub>2</sub>を出さないかもしれませんが、ウラン採掘をはじめとして安全対策工事ほかで大量のCO<sub>2</sub>を出しています。

原発稼働では温暖化対策にはなりません。

この国はいつ地震が起きてもおかしくない環境にあります。

先日、浜岡原発で基準地震動のデータ偽装が発覚しました。何故このようなことが行われたのでしょうか？電力事業者が何としても原発を動かしたかったから低い値を使ったのでは、と思います。とても危険なことではないですか。

柏崎刈羽原発が何度もトラブルを起こした後、原因究明もちゃんと行われないうまま再稼働をしました。

本当に安全かどうか疑問です。何よりの問題は、処分のできない核のゴミの問題です。六ヶ所村の再処理工場は27回も完成が延期され、いまだに見通しが立っておらず、地層処分場も見つかっていません。

そもそも日本には安全な地層処分できるところはない、と科学者も言っています。

原発をあきらめて再生可能エネルギーに切り替えることを考えてください。

まだ開発するべき再生可能エネルギーはあります。地熱発電などはまだ充分開発されていません。そして窓などにも取り付けられる薄型のプロブスカイトなども開発されているので、その活用を考えていただきたいと思います。

再び悲惨な原発事故を起こさないために脱原発を決断してください。よろしくお願ひします。 以上

書籍紹介: **飢えと子どもドロボー団**

## — 満州引き揚げからパルシステム連帯までの半生記

戦争、敗戦という稀有な体験をした世代も少なくなってきた。私は、植民地満州国の開拓団で、国民学校二年生であった。突然の価値観の転換を理解する前に、飢餓に直面した。住んでいた日本人住宅を追い出され、「満人」（と呼んでいた）の自作農の小屋に収容された。彼らの主食、粟を与えられた時は、空腹にもかかわらず喉を通らなかった。帰国までの一年三ヶ月、飢餓地獄だった。開拓団員は全員、帰国船に乗るまで、団長から渡された青酸カリを懐にしていた。

長じて私は、生活協同組合というすばらしい連帯組織に関与してきた。日本生活協同組合連合会（日本生協連）が1951年の設立総会で掲げたスローガンは「平和とよりよい生活のために」である。私の人生は良くなるであろう、と納得していた。その後、今日まで平和な時代は続いた。このまま続いてほしい。

ガザやウクライナは他人事ではない。生協は、戦争に反対する行動を起こすべきである。

本文を読まれた方が、私の半生記の中で訴えている「反戦」をくみ取っていただけるとありがたい。

◎以上は、本書「はじめに」からです。昨年、東京の社会評論社から出版された本書の著者の下山保（シモヤマ タモツ）氏は「テントひろば」創設メンバーのお一人で、今回ご紹介する書籍ではご自身の関わってきた生協運動、反戦運動を語っています。本書はテントひろばでも取り扱っています。◎

## 【目次】

第1章 団地の自治会から生協づくりへ

第2章 「ドロボー団」結成～過酷な満州からの帰還

第3章 故郷の山形県楯岡町（現村山市）での学生時代

第4章 早稲田大学と安保闘争と社会党

第5章 生協経営の安定化と今後に向けた改革・社会的課題への挑戦

第6章 趣味について

**麦焼酎『脱原発』を****24本入荷しました。**

皆様にご好評の麦焼酎『脱原発』を、長野県佐久市の日本酒蔵元「千曲錦酒造（株）」から仕入れた「藤小西」酒店の石田藤男さんが、先日テント事務所に届けて下さいました。これまでも多くの皆様にご協力頂き、3年目の販売活動に入ります。

注文は、電話、Fax または電子メールでお願いします。座り込み現場の経産省本館前で手渡しできます。遠方の方には送料着払いでお送りします。

今回、仕入れ価格の高騰により720ml ボトル一本の価格を2000円に値上げさせていただきます。 ↑

テントひろばの連絡先は、電話 070-6473-1947、

Fax 042-301-8946 あるいは電子メール

e\_ooga@jcom.home.ne.jp（大賀英二宛）

までご注文願います。手渡しではなく、郵送を希望される方は、注文の際に本数、あなたのお名前、電話番号または電子メールアドレス、お届け先の〒と住所をお知らせください。

**集会・行動予定**

◆ 2月25日（水）14時半～15時45分

121回 JKS47 月例祈禱会

会場：経産省前脱原発テントひろば

◆ 2月27日（金）17時～18時

**経産省前抗議集会（毎週金曜）**

主催：経産省前テントひろば 場所：経産省正門前

◎ 経産省前の座り込み行動は、平日：12時～16時（月～木）、13～17時（金）◎

◆ 同日（金）18時15分～19時15分

「柏崎刈羽原発動かすな」抗議行動

場所：首相官邸前

◆ 3月1日（日）10時半～16時半（開場：10:00）

【3.11から15年】福島からつながる声—核なき世界をめざして

第1部 原発事故から15年 10:30-12:35

第2部 各地での取り組み 13:45-14:40

第3部 核のない世界をめざして 14:50-16:30

会場：全水道会館大会議室

JR 水道橋駅 東口 徒歩2分；都営地下鉄 三田線 水道橋駅 A1 出口 徒歩1分

◆ 3月4日（水）12時～13時

原子力規制委員会前抗議行動（毎週水曜）

◆ 3月7日（土）とめよう原発3.7全国集会

会場：代々木公園にて 11時～14時半

テントひろばは、ブース出店を予定しています。

◆ 3月9日（月）大間原発建設差し止め裁判

第36回口頭弁論 14時半～ 場所 東京地裁 103号法廷

報告集会 15時半～参議院議員会館・101号室

◆ 3月11日（水）14時から16時

あれから15年、忘れてるか、フクシマを!

**脱原発 経産省前大集会**

本紙表面参照

◆ 同日（水）16時45分～18時

第92回日本原電本店前行動

18時45分～20時

第150回東電本店前合同抗議

◆ 3月29日（日）12時～15時

脱原発・青空川柳句会

終了後、日比谷公園かもめ広場にて花見の会を開催予定

主催：経産省前テントひろば・乱鬼龍

≪経産省前テントひろば≫

住所：〒105-0003 港区西新橋 1-21-8 新虎ビル 2F

・電話：070-6473-1947

・郵便振替口座 = 00160-3-267170

・口座名義 = 経済産業省前テントひろば

WEB：<http://tentohiroba.tumblr.com/>

Mail address：tentohiroba@gmail.com